

補足
あとがき
エピローグ



補 足

前回説明不足かもと、足してみた補足が意外に好評だったので、
それじゃあ…今回も! と入れてみました。

入れなくても分かるようにしとけよって話なのですが…。
エッチな展開を優先したいんです!(断言)なので何卒ご容赦を…!

● 魔導王について

これは作中、また前回の補足でも触れてますが、エルフは人間との接触で一部が墮落し、ダークエルフとして精霊的存在からより生物的存在へと変化しました。更にそこから人間との交わりが深くなるに連れ、オークやゴブリンなどが生まれました。最終的にダークエルフはエルフと人に滅ぼされエルフは地上を去り、人間が支配権を得た流れになります。

そんな争いに目もくれないダークエルフが一人いました。彼は研究所を作って閉じこもり、現在禁忌とされているような魔術の研究に没頭していました。人間をゴブリンやオークに変化させたり、キメラを作り出したりと。地上では世代が進み、人間達の社会が構築されていきましたが、彼は変わらず地下で密かに研究を続けていました。彼は地上を支配しようなどという考えはありません。

というよりもそもそも地上は彼らエルフの支配下にあるものなので、支配するという概念自体ありません。時折実験のために地上の人間を攫うなど、彼にとっては地上は実験場といった認識でした。

やがて人間社会に彼の存在が知れわたり、地上の支配権を手にするため争い合っていた各国は一時協力し討伐することになります。

結果、最後のダークエルフは滅ぼされます。彼を倒した一団は英雄と崇められ、その内の一人、神官ブリジットによってダンジョンの封印がされました。魔導王の研究は人が手にするには危険すぎるからです。英雄達はお互いに国が違いましたが、永久



に封印することに同意しました。各国の上層部はあわよくばその力を独占し、地上の支配者になろうとしていましたが、英雄達の意向や、周りとの協調のため表面上は同意することに落ち着きました。

英雄の一人、神官ブリジットが初代封印の巫女となり、彼女の属する精霊教がダンジョンを管理することになります。ダンジョンの上に精霊教の神殿が立てられ、不可侵の場となりました。神殿には各国の騎士を派遣し、神殿騎士として神官や巫女を守ることになります。

▶四大教の一つである精霊教の封印の巫女となったリディアは、封印を守るために生涯純潔を守り聖地から離れられないはずだったが…。



● 神殿騎士について

公平に神殿を守るため各国から派遣された騎士で結成された神殿騎士は、女神官達とは接触禁止で、神殿の周りの城壁内で生活しています。

ダンジョンを封印するのが共通の目的として各国力を合わせると言うお題目ですが、各国の王達はその力を密かに狙っているため互いに牽制しあう意味もあり、各国の代表が騎士を派遣しています。ジークは優秀で本人の希望もあり騎士に選ばれましたが、真面目過ぎるところから裏の仕事は指示されていませんでした。



ジークはそんなことはつゆ知らず、他の騎士達は情報を得るため、一部の騎士は密かに神殿に侵入して何かしらの情報を集めて国元へ送っていました。

作中の初代封印の巫女ブリジットが用意した隠しダンジョンは、封印が破られた際、再度封印するための魔術を記しています。解呪とセットのため、今回は最悪の展開になってしまった、という感じです。魔導王のダンジョンほどではありませんが、地下深くにあり、ここはゲルドロリックスの魔術の範囲外だったので、攻略には力を発揮できた、という経緯です。

私は……
封印の巫女です……!

汚らわしい
オークの男根なごに
屈しはしません……

?

リディアア……!
あれが聖女……
お話を……
……聞きたい……

威仕の巫女を
其の爲めに……
殺戮せし……

ジーク達が手にした封印解呪の魔導書も、騎士達が密かに調べていた結果見つかったものでした。

そのため神殿の調査隊を組もうにも、同盟を結んだ国が実は裏切っており、神殿についたらまとも、と疑心暗鬼になり、動くに動けない状態になっ

これらの噂を流したのは、裏でゲルドと取引した人間の商人達で、目先の旨味（金や女など）に釣られた者達が動いた結果でした。

もし予想に反し、人間達が協力して攻めてきても、人質とディアドロ達の力で籠城を続け、魔導王の力を手に入れ勝利する算段でしたが、結局は彼の思惑通りに展開しました。



以前は増長からクラウドディアの祖国を早々に手にして制覇を進めるつもりでしたが失敗し、改めて慎重に事を進めていたゲルドですが、ディアドロの誕生と成長でその必要がなくなりました。

今までの脳筋オークと違い、自分の子供達は頭脳も優れ、規律のある軍隊としても機能し、以前とは比べ物にならないほどの力を手にしたゲルドロリックスは今後この地を拠点に、地上制覇を進めることになります。

そんな意見がまとまらない各国は、中立となる精霊教の女神官達を神殿に派遣させ、様子を見ることになりましたが…。

● ディアドロについて

彼女は一人で一国の軍隊と渡り合うほどの力を持っています。そのため、ゲルドとしては彼女を手に入れた段階で、恐れる物が無くなったと言っても過言ではないでしょう。

彼女自身はまだ幼いこともあり、父のような大それた考えは持っておらず、ただただ愛する父と母の命に従っているにすぎません。ゲルドから人間の愚かさなどを聞いているが、一方で父が愛する母は人間であることから、人間とはどういうものか？ という疑問と興味が尽きないでいます。

善悪の判断は環境故に人とズレてはいますが、子供らしい好奇心と無邪気さで周りを観察しています。最後にジークにかけた魔法も、あくまで彼女なりの善意、優しさからの行動だったりします。

成長速度は早く、数年で人で言う14、5才に育ちました。もう数年で美しい女性に成長するでしょう。大人になった彼女が、世界をどう見るのでしょうか…。



◀ 高い魔力と知性、母を超える剣才を秘めているディアドロ。人間に対する情をも持つ彼女の存在が今後の鍵に？

こんにちは山田ゴゴゴです。

あとがき

まさか本当に続きが出るとは！ という感じが、
なんとか皆様にお届けできてホッとしております。

担当さんに続編の構想をお話ししてから約5年…（確か多分）
大変長らくお待たせしてしまい、まことに申し訳ありませんでした。

色んなことが重なり、スケジュールが完全に破綻して身動きできなくなっていました。

本当に恥ずべきことだと自覚しております。

次はこの様なことの無いよう進めて行けたらと思います。

今回描きたかったのはオチの部分、
リディアとジークのラブラブセックス（でもオーク墮ち）でした。
オークに負けてる、でも恋人同士が結ばれているという、
相反する要素をくっつけるところからスタートして、
完墮ちしたクラウドさんと娘のディアドロ、父親ゲルドロさんの姿を描いたら
面白そうだな、といった所を膨らませて行きました。
今回第二夫人としてリディアさんと姉妹二人が増えて、
ますます充実していくゲルドロファミリーに幸あれ！

という感じで、このシリーズもう少し続けさせてもらうことになりました。

二章を考え出した所から三章目までセットで考えており、

三章はディアドロちゃんが主役にと決めてありました。

今回の彼女はお披露目的レベルな感じで考えており、

エッチシーンを期待された方には非常に申し訳ありません。

全裸イラストでご勘弁いただければと…。

予定通りなら、メインのお話は次で終わるかと思いますが、

このシリーズ考えればいくらかでも番外が思いつきまして…。

ゲルドロさんが各国を攻めて、王女様や女王様を墮としていく展開でいくらかでも描けるという。

ワンパターンになってしまうので、流石に限度がありますが、

もし機会があればそういった物もお見せできたら良いなと思います。

頑張ってペース上げて行きたいですね！（切実）

もし何かご意見等ありましたら下記サイトにでもお寄せください。

<https://ymdgogogogo.blog.2nt.com>

反応は極めて鈍いですが…

それではまたお会いできることを祈りつつ。

山田ゴゴゴ



私は教会の前に
捨てられていた
捨て子でした

精霊教の
神官の方達は
私を厳しくも優しく
育ててくれました

欲に流されることなく
初代様の教えに従い

きよただ美しく

純潔を守り

そうあること
ずっと努めて…

エローナ2
ERONA
オークの淫紋に悶えし巫女の成れの果て

エビローグ「雌豚神官」

けれど…



あひへ

気持ちいい
気持ちいい

ちんぽすごいいい
セックスすごいいい♡

はいいい
リディアゲルド様の
ちんぽで…

グブブ
遺産の魔法で
絶頂すれば
胎児の成長が早まる

もはやお前は
封印の巫女ではない
一匹の牝だ

思うさま
イキ狂うがいい

いっぱいいっぱい
イギます♡

そして遺産で
不死の研究を
完成させた暁には
クラウディア共々
我がエローナとして
犯し続けてやろう

おほう…

お♡

お♡

永遠にな

永…遠に…？

ずっと
こんな気持ちよく
いられるの…？

ずっと

オーク様のちんぽを
味わえるの…？

あーっあーっ
あーっあーっ
あーっあーっ

ありがとうございます

あー

あー

ゲルト様ああ
リディアのおまんこ永遠に
犯し続けてくださいいい♡♡

あはあ

そして
いっぱい
いっぱい
産みます♡

オーク様を
産んで産んで
産んで産んで



永遠にお仕えしましゅっ♡

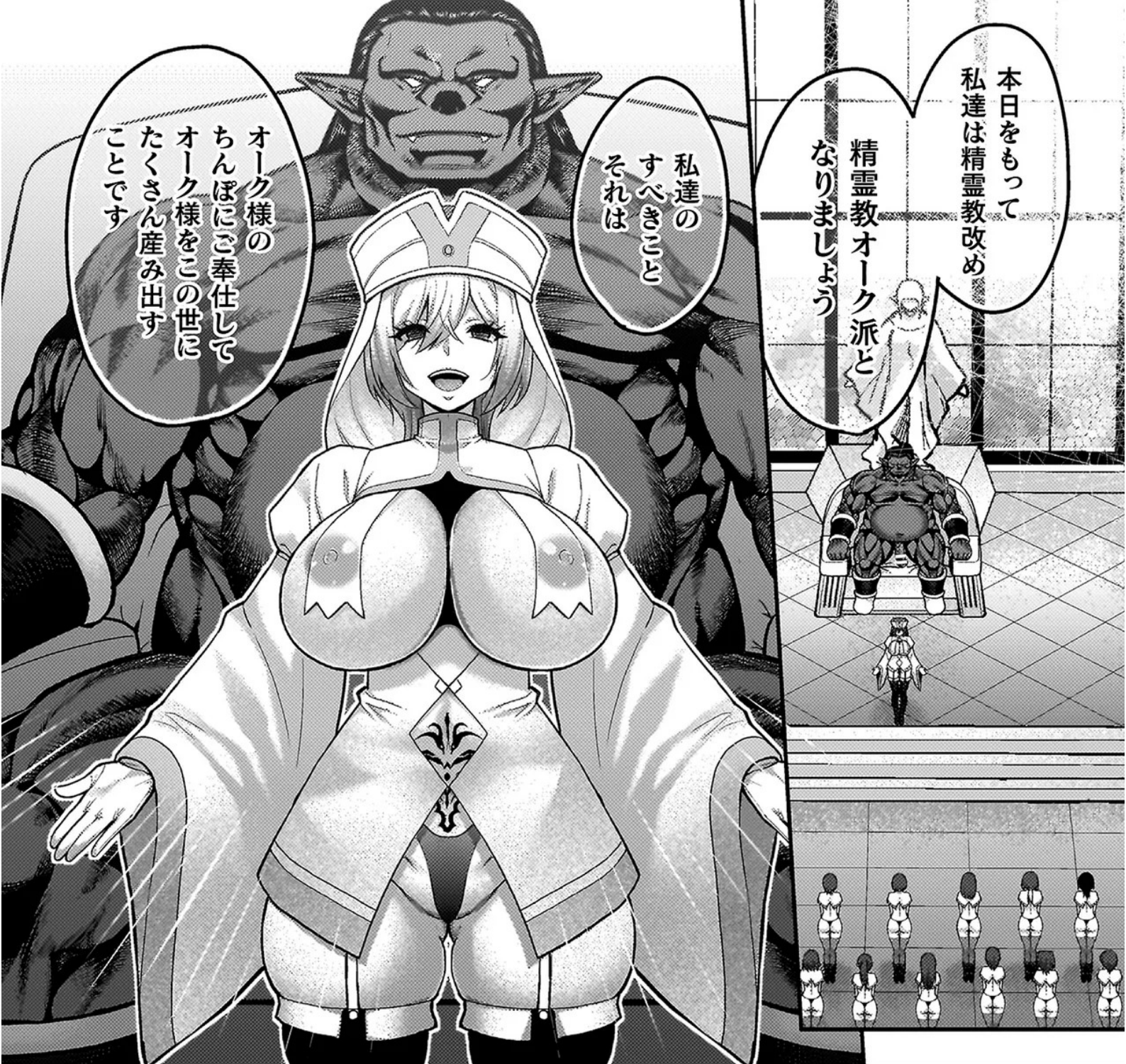


本日をもって
私達は精霊教改め

精霊教オーク派と
なりましょう

私達の
すべきこと
それは

オーク様の
ちんぽにご奉仕して
オーク様をこの世に
たくさん産み出す
ことです



オーク様の
子種で身ごもり

我が身を通じ
オーク様を降臨
させられるのです

もうつらく苦しい
思いなどせず
精霊様とひとつになる
ことができるのです

なんて…
なんて素晴らしいの
でしょう…♡



私達の信じていた
精霊様はこんなにも
身近に居たのです

オーク様を醜い
邪悪な生物などと
勘違いしていたことを
恥じなければ
なりません

そして贖罪として
ひとりでも多くの女性を
牝をオーク様に
捧げなければなりません

それが私達の新たな…
いえ真の使命♥

まずはその一歩
ゲルド様に
この方を
捧げましょう

私を拾い
育ててくれた
恩師です♥

リディア…

様子を見にくれば
本当にこんな…

なんと悼ましい…!

近いうちに
多くの国々が
聖地を取り戻しに
押し寄せてくるでしょう

貴方は滅ぶのです
汚らしいオークめ…!

グブブ
どうかな

ヒスヒス

誰も彼も
この地を得んとして
互いに足を
引っ張りあって

お前のような
無難な先遣隊を送る
のみのようだがな







さあいつぱい
子作りしましょ…♡

愛しています
ジーク様…♡

リディアアアア

END

魔導王の遺産を狙う知恵あるオークに強襲された精霊教会。封印を守る巫女リディアは、命を代償に侵略者の野望を阻もうとするが、絶頂することで封印が解除されていく淫紋を刻まれてしまう。彼女は想い人の神殿騎士や巫女たちの前で人外の快楽に抗い続けることができるのか!?

